

公募型プロポーザル方式 対象案件に関する質問・回答

工事名	令和8年度 交付金(総流防)情報基盤整備事業 雨量等観測総合システム(公開システム)構築業務
箇所名	県内一円
掲示日	令和8年7月6日
回答者	長野県建設部砂防課

NO	質 問 事 項	回 答
1	雨量等観測総合システムは、【観測システム】と【公開システム】から構成され、今回の業務は、【公開システム】の構築を行う業務と認識しておりますが、2)現行システムの状況調査、3)システム全体構成方針の決定に伴い、【公開システム】で担う業務内容において、【観測システム】側の仕様決定に基づき、受注者側の【公開システム】提案内容に仕様変更が生じた場合は、設計変更対象となる認識でよいでしょうか。	協議により仕様変更が必要と判断した場合は、設計変更の対象とします。
2	現行システムの状況調査において、資料収集整理の実施にあたり必要な情報・資料は契約締結後、速やかに提供いただけるとの認識でよいでしょうか。	現行システム、雨量等総合観測システム(観測システム)等、必要な情報・資料は、速やかに提供する予定です。
3	雨量等観測総合システム(観測システム)の構築業務等においても、気象庁や国土交通省の関連システムの情報を収集し整理されているものとするが、資料等の閲覧、貸与も可能でしょうか。	雨量等観測総合システム(観測システム)の構築業務等において、収集整理されている資料等は、貸与可能です。
4	「現行機能の維持を基本とし、必要な情報(有償・無償)を整理」とありますが、本提案後に、新たに必要な情報が有償となった場合は、設計変更対象でよろしいでしょうか。	協議により仕様変更が必要と判断した場合は、設計変更の対象とします。
5	各種防災情報の取得に関しては、クラウド環境で別途構築を予定しているデータベースは無償で取得が可能、(一財)河川情報センターからの情報取得は、有償と考えることでよいでしょうか。	取得方法について、提案・協議により決定するものとします。
6	クラウド環境で別途構築を予定しているデータベースからのデータ取得は、WEB_APIを用いて取得が可能と考えてよいでしょうか。	様式1号 公募型プロポーザル方式(技術者評価型)に係る手続開始の掲示についての1 業務概要(5)業務内容 4)機能要件ア防災情報の表示機能のとおり、必要に応じて、本業務で構築する表示機能において取得しやすい形式となるよう、発注者、データベース構築事業者、本業務受注者の三者で協議を行う予定です。
7	気象警報・注意報の範囲は、どのような情報が対象となりますでしょうか。 例:大雨、土砂災害、暴風(雪)等	現行システムで提供する気象警報・注意報を最低限の範囲とし、詳細は提案・協議により決定するものとします。
8	「雨量、水位、CCTV カメラ画像の取得は、(一財)河川情報センターからデータ入手することを基本とします。」とありますが、発注者にてデータ提供元と契約のうえ受注者にご提供をいただけたとの認識でよいでしょうか。 その際の提供元との契約、費用負担は本業務に含まれないということでもよろしかったでしょうか。	「雨量、水位、CCTV カメラ画像の取得は、(一財)河川情報センターからデータ入手することを基本とします。」が協議により決定するものとします。提供元との契約方法、費用負担についても、協議により決定するものとします。

9	土砂災害危険度および解析雨量は、クラウド環境で別途構築を予定しているデータベースから情報取得が可能と考えてよいでしょうか。	データベースから情報取得が可能と考えています。
10	県水防警報作成・伝達（メール・FAX）は、職員の入力操作等を介さずに自動伝達する運用方針の計画・予定はありますでしょうか。	システムにより文案作成までを自動で行い、発信は職員判断のもと行うことを想定しています。
11	国洪水予報・水防警報に関する情報の取得は、（一財）河川情報センターからデータ取得することを考えてよいでしょうか。	取得方法について、提案・協議により決定するものとします。
12	受信確認の対象は、県水防警報伝達におけるFAX、県管理ダム、水門、排水機場の放流通知等の伝達におけるFAX、国洪水予報・水防警報転送におけるFAXとし、メール受信確認は、受信者の負担を鑑みて対象外と考えてよいでしょうか。	本機能を用いて伝達されるすべてに対し受信確認機能を付す想定ですが、詳細は提案・協議により決定するものとします。
13	今後の水位予測傾向に関して、水位予測情報の入手は、「クラウド環境で別途構築を予定しているデータベース」または、「長野県スマートハイランドデータ連携基盤」と考えてよいでしょうか。	水位予測情報の入手先については、提案・協議により決定するものとします。
14	長野県スマートハイランドデータ連携基盤の利用は、利用申請を実施することで無償利用可能と考えてよいでしょうか。	長野県スマートハイランドデータ連携基盤の利用要綱を確認してください。 https://www.pref.nagano.lg.jp/dx-promo/naganodip/index.html
15	長野県オープンデータサイト < https://www.pref.nagano.lg.jp/dx-promo/kensei/tokei/johoka/opendata/index.html >から雨量、水位データをCSV形式でダウンロード可能となっておりますが、本システムでは、データダウンロードに際し「任意の観測局および期間を選択」できる仕組みを導入する認識でよいでしょうか。	公開システムから直接、観測データを誰でも自由に任意の観測局、期間を選択し、ダウンロードできる仕様を想定しています。
16	本仕様書におけるデータ取得の方針は、雨量等観測総合システム（公開システム）に到着までの所要時間は現行システムより増加することと考えられます。 現行システムの状況調査およびシステム全体構成方針の検討後、タイムチャートを提出し、協議・報告を計画いたしますがよろしいでしょうか。	表示遅延や情報欠落が生じない、安定した情報提供が可能な構成を提案をお願いします。
17	災害時においても継続的に情報提供が可能となるよう、システム全体として冗長構成を基本とした設計の範囲は、「公開システム」と考えてよいでしょうか。	「公開システム」が災害時においても継続的に情報提供が可能となる冗長構成の提案をお願いします。
18	「不正アクセス防止、情報漏洩防止の観点から、適切な認証・アクセス制御」に関して、適切な認証・アクセス制御は、住民向けの公開に関しても対象となりますでしょうか。	利用者ごとの適切な認証・アクセス制御方法を提案をお願いします。
19	誤情報配信時はすみやかに訂正および削除を行うとありますが、貴県担当者様と連絡等の後に作業を行うことでよいでしょうか。	誤情報配信時の対処方法について、適切な運用方法の提案をお願いします。

20	新旧システムの切り替えに関し、現行システム保守業者の立ち合いが必要な場合、その立ち合いに要する費用は本業務に含まれるという認識でよいでしょうか。	現行システム保守業者の立ち合いが必要な場合の調整は、発注者で行います。受注者の立会に要する費用は、本業務に含まれます。
21	現行システムからのデータ抽出は現行システムの機能にてダウンロードできるものと考えています。一部ダウンロードが行えないデータがある場合は、現行システム保守業者が現行システムのデータベースから取得し受注者に提供頂けることでよいでしょうか。また、それに要する費用は本業務に含まれるという認識で良いでしょうか。	現行システムからのデータ抽出及び提供方法についての現行システム保守業者との調整は、発注者で行います。受注者の要する費用は、本業務に含まれます。
22	登録済みのメールアドレスを新システムに引き継ぐ際、現行システムからのデータ取得は今回の受注業者の責任の元、行うことでよいでしょうか。	登録済みのメールアドレスの新システムへの最適な引継ぎ方法を提案お願いします。現行システム保守業者との調整は、発注者で行います。
23	「本業務における成果品は、全て発注者に帰属するものとし、受注者は発注者の許可なく使用、流用してはならない」とありますが、受注者が従来から保有する開発済の成果物や帰属しているパッケージ商品等は含まれないとの認識でよいでしょうか。	受注者が従来から保有する開発済の成果物や帰属しているパッケージ商品等を使用することを想定していませんが、提案・協議により決定するものとします。